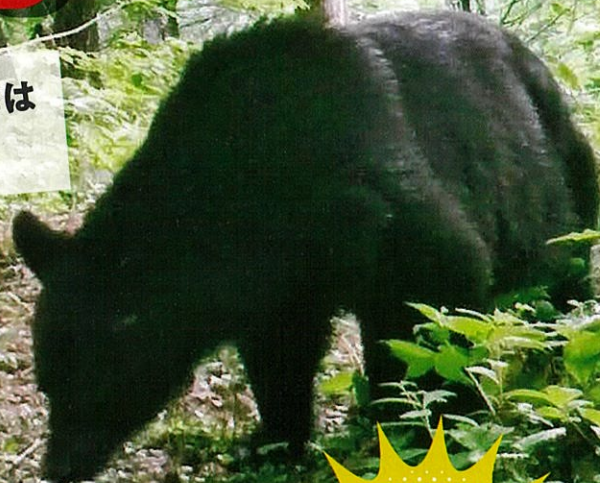


今秋は特に クマ注意!

今年はクマのエサとなるブナの実が極端に少なく、秋季はエサを求めて出没が増加すると予想されています。
登山や、きのこ採りで山に入る際はもちろん、
人家周辺でも注意が必要です!



クマに襲われた場合、地面に伏せて
頭・首・腹を守る



秋田大学の研究では防御姿勢をとった方の重症者は、いなかったという結果が出ています。

クマから
身を守るための
動画



※画像はイメージであり、実際に人が襲われたところを撮影したものではありません。

音の鳴る物

クマ撃退スプレーを携行



単独行動を避ける



柿などの放任果樹の
除去や生ゴミ等の
誘引物を置かない



親子グマに注意

※子グマの近くに母グマが
いる可能性があります



作業中はこまめに
周囲を確認

※**早朝**や**夕方**は要注意!





人身被害を防ぐ③つのポイント



① クマに出会わないために

山にクマがいることはあたりまえです

●出沒情報に注意しましょう

予め入山する地域の目撃情報を確認し、クマのいるところには近づかないことが大切です。

●クマの痕跡に気をつけましょう

山中で、糞や足跡、熊棚、熊はぎ等の痕跡を見つけたら、その場を早々に立ち去るなど細心の注意が必要です。

●自分達の存在を知らせましょう

極力複数で行動し、鈴やラジオ等を鳴らし、自分達の存在をアピールしてください。風や雨、川の音等で伝わりにくい場合もあり、過信は禁物です。

●黎明薄暮時は特に気をつけましょう

朝・夕の薄暗い時間帯は、クマの活動が活発です。極力この時間帯を避けて行動してください。

県内では午後2時頃にも人身被害のピークがあり、日中でも周囲の気配りが必要です。

＜山林等で作業する皆様へ＞

身近な里山でもクマとの不意の遭遇に注意を払う必要があります。入山前のバクチクや作業中にラジオを鳴らす等人の存在を知らせること、たえず周囲の様子に気を配ることが重要です。

また、クマの生息地に頻繁に入る方は、クマ撃退スプレーの携行も検討してください。

クマスプレーは、風向きによっては、発射した本人への影響もあるため、正しく使用ができるように日頃の実習や訓練も重要です。加えて、出合頭の遭遇等対応困難な場合もあるため、過信は禁物です。



② クマを引き寄せないために

クマを誘引するものの徹底的な除去が基本です

●生ゴミ等誘引物は適切に処理しましょう

クマが人里に出没する原因は、餌の存在です。生ゴミ、不要となった農作物や山菜や果実は、人家の周りや農地に放置せず、土に埋めるなど適切に処理してください。人がおいしいものは、クマにとってもおいしいものです。

●隠れ場所を作らない。

車庫、作業所、農機具小屋のシャッター、扉などを施錠してください。



●ゴミは持ち帰りましょう

人間の食品またはその臭いなどに馴れさせてはいけません。キャンプや登山、溪流釣りなどで出たゴミ、山野にある墓地のお供え物等は必ず持ち帰ってください。食べ残しの放置等は、クマを引き寄せる大変危険な行為です。

●クマの出沒しにくい環境を整備しましょう

併せて、集落や農地の周辺、川沿い等にクマの潜みやすいヤブや茂みがある場合は、除去すると効果的です。



③ 万一、クマに出会ってしまったら

落ち着いて行動することが大切です

●興奮しない、させないようにしましょう

遠くにいる場合は、そっと立ち去ってください。

近くにいる場合は、急に大声を出したり、ものを投げたりするとクマが興奮して危険です。

●そっと後ずさりしながら離れましょう

クマは逃げるものを追う習性があり、100mを9秒で走る等力ではかないません。まずは、落ち着いて騒がず、走らず、ゆっくり後退してください。

●子連れのクマに注意しましょう

子グマを見ても、決して近づいてはいけません。近くに母グマがいると考えられ、大変危険です。

●クマが襲ってきたら

「死んだふり」は効果がありません。地面に伏せ、ダメージを最小限とするため、両手で頭部や首等急所をしっかりガードし、クマの攻撃をしのぐ方法が有効といわれています。

●集落や市街地にクマが出没したら

周辺の住民にも知らせ、近づかないよう安全確保を徹底してください。クマの出没を市役所、警察へ連絡してください。



通報
問合せ

魚沼市役所 生活環境課 025-792-9766 防災安全課 025-792-9214
北部事務所 025-797-2311 小出警察署 025-793-0110